

岡山県農林業実践学習の里 体験学習農園



平成25年6月17日
於 岡山国際交流センター

1 概要

(1) 成り立ち

体験学習農園は、公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団が岡山県から土地を借り受けて施設を整備し、昭和57年に開設したもので、当初は農業改良普及所の所属で普及員の皆さんが作物を栽培するなどして普及技術の向上を図った。

しかし、運営費の削減に伴い平成11年に廃止となり、財団独自の運営となって現に至っています。

(2) 施設の概要

1) 土地：16.6ha（県有地）

水田34a、畑26a、樹園地66a、
施設用地120a、山林1,414a

2) 建物：10棟

- 研修生宿舎：160m² 昭和56年移築（建築後約200年経過）
- 農業歴史館：137m²
- 生活展示館：72m²
- 研修館：92m²
- その他付属施設：6棟











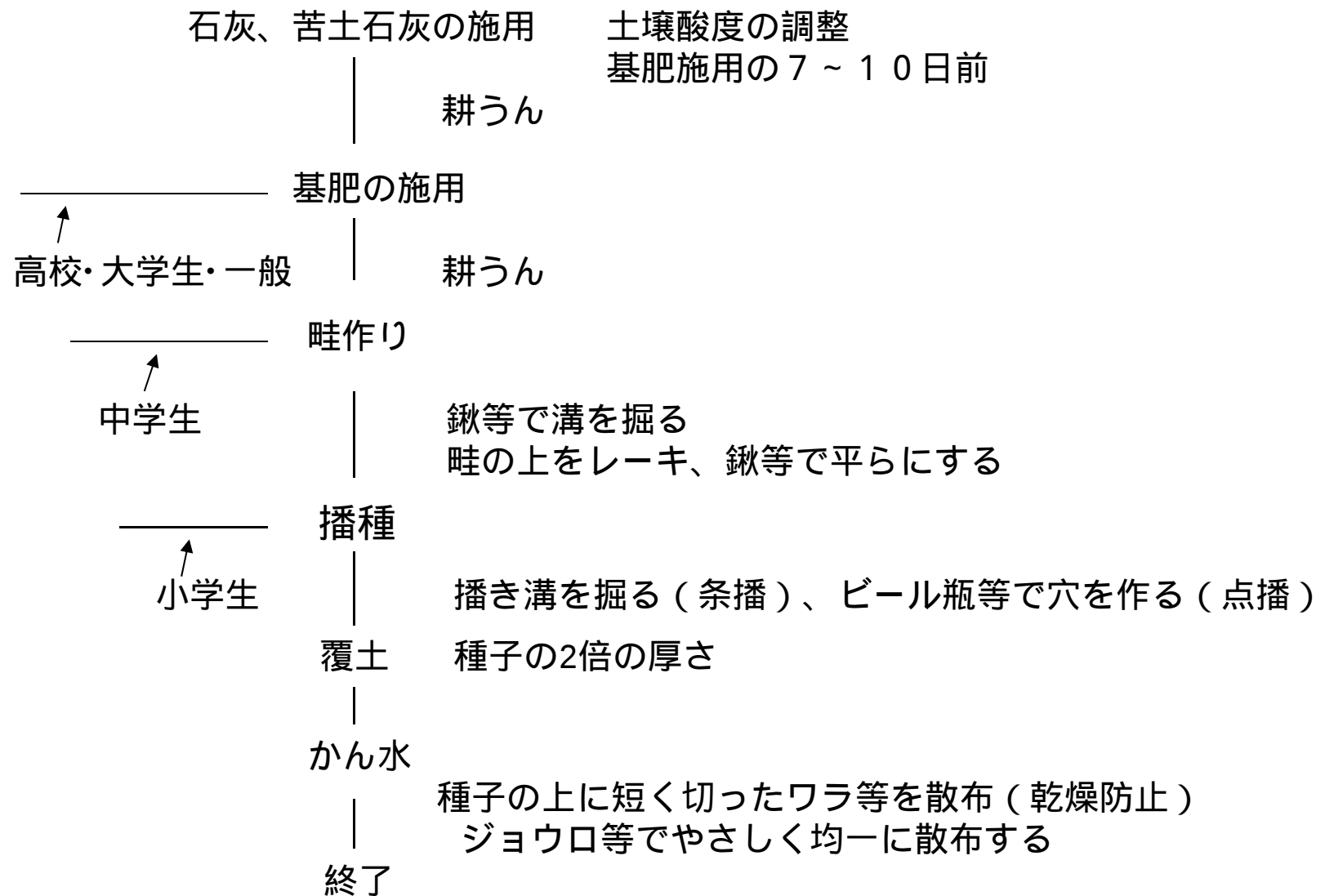
(3) 栽培作物

- 果樹
(ぶどう、桃)
- 稲
(もち米、黒米、うるち米)
- 野菜
(一般野菜、タマネギ苗)
- ビニールハウス
(野菜苗、トマト、ほうれん草)

2 農作業体験

可能なかぎり作業体験をしてもらうことを心がけています。

【露地野菜の播種作業例】



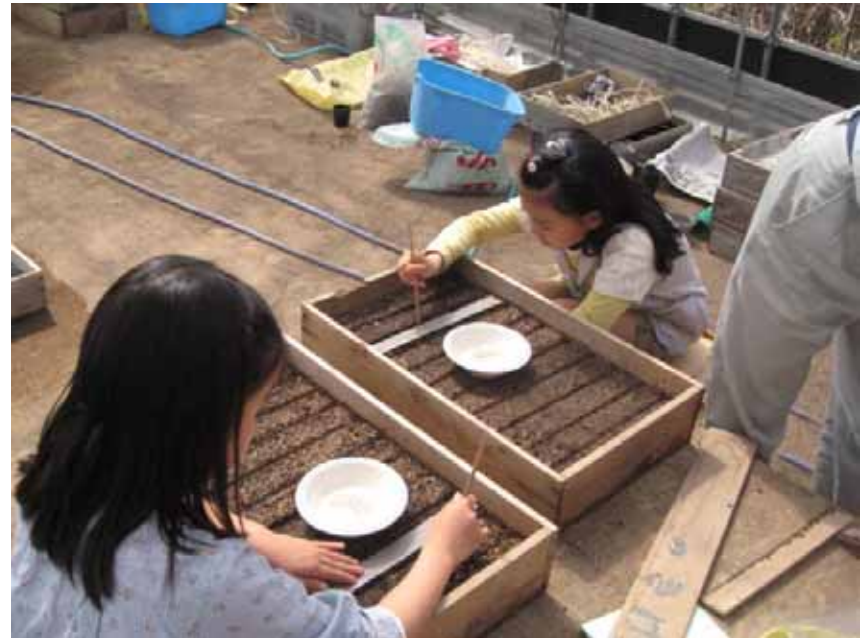












































3 終わりに

(1) 旬の作物を適期に食べる

トマト：木で熟した果実を食べるのが本来の味です。

(2) 市販品でなく自分で作った食品を食べる

もち：暖かい時期に食べる。

コンニャク、豆腐：作り立てを食べると、コンニャク芋や大豆の味がして、とても美味しい。